

大田区における 保育施設等嘔吐物処理方法マニュアル (R5.9.改定)

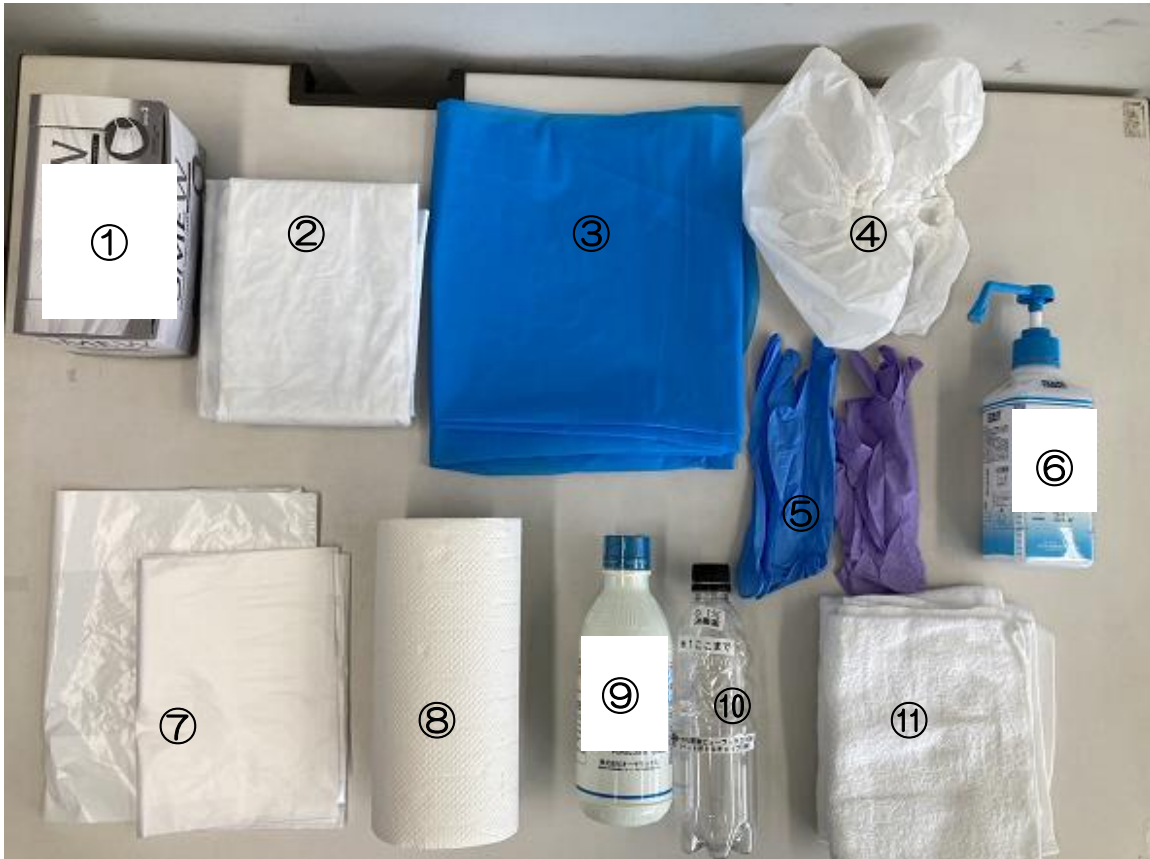
【目次】

1	必要物品	1
2	嘔吐物の飛び散る範囲	1
3	嘔吐物処理の手順	2
4	個人用防護具の外し方	4

無断での複製、転載、転用、改変等は
禁止いたします。

大田区 感染症対策課

1 【必要物品】 嘔吐時に慌てないように、あらかじめ必要物品の準備をしておきましょう！



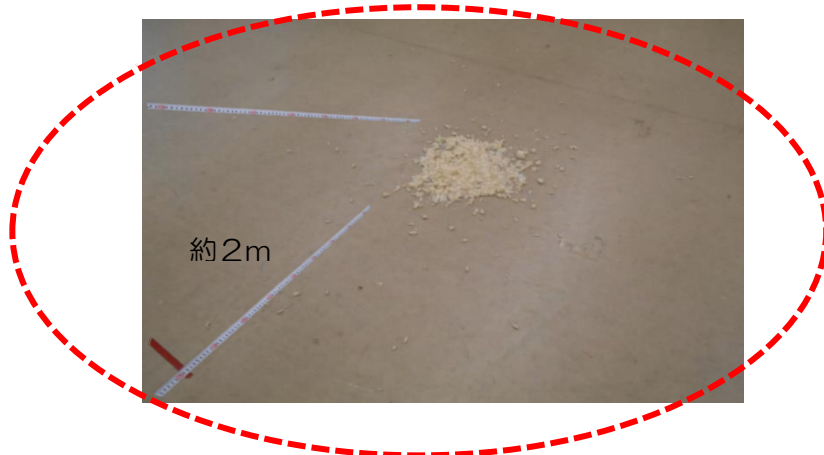
- ①マスク ②ペットシートもしくは新聞紙 ③ガウン ④シューズカバー
- ⑤手袋2セット ⑥手指消毒用アルコール ⑦ゴミ袋2枚 ⑧ペーパータオル
- ⑨次亜塩素酸ナトリウム ⑩希釈用ペットボトル ⑪水拭き用のタオル

* 消毒液（0.1%次亜塩素酸ナトリウム）の作り方*

水 500ml に対し、6%原液の次亜塩素酸ナトリウムをペットボトルのキャップ2杯（10ml）入れると0.1%の次亜塩素酸ナトリウムができます。園児の手の届かない安全な場所に保管しましょう。

2 【嘔吐物の飛び散る範囲】

嘔吐物は想像以上に遠くまで飛び散ります。実験の結果、床から1mの高さから吐くと、嘔吐物が飛び散る範囲は約2mであることを確認しました。そのため、広い範囲の消毒が必要です。



3【嘔吐物処理の手順】※普段から、緊急時のために練習しておきましょう。

①嘔吐を発見した人、もしくは責任者はすぐに役割分担を職員に指示します。

(子どもたちの避難担当 / 患児のケア担当 / 片付け担当)

②周りの人を避難させた後、速やかに片付けの準備をします。

③片付け担当者はマスクを着用します。

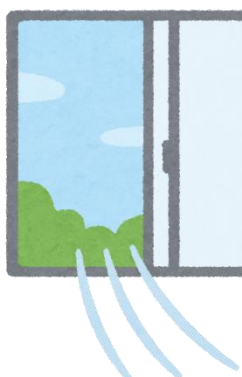
④ペットシートや新聞紙を嘔吐物の上に静かにかけます。



⑤嘔吐物を覆った後に、窓を2か所以上開けて換気をします。

⑥手指消毒をします。

⑦個人用防護具を着用します。介助者がいれば同様に着用します。



⑧嘔吐物を入れるビニール袋は自分のそばに広げて準備します。

⑨嘔吐物は外側から内側に向けて包み込むように取り除きます。

⑩嘔吐物を広げないように、ゆっくりと静かに拭きます。

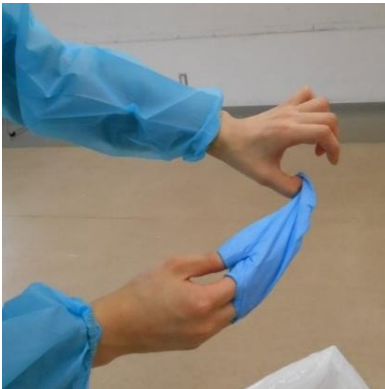
⑪予め広げておいたビニール袋に入れます。



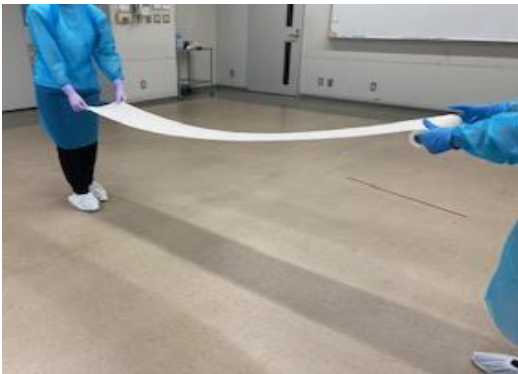
- ⑫嘔吐物をすべて取り除いたら、ビニール袋の封をします。
嘔吐物が入ったビニール袋を大きなビニール袋に入れます。
大きなビニール袋は、封をせずに広げたままにしておきます。



- ⑬手袋を外し、手指消毒をします。
⑭新しい手袋を着用します。



- ⑮消毒のためペーパータオルを広範囲に敷きます。



- ⑯嘔吐物が付着していた床は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。
嘔吐物があった場所を中心に、広範囲に消毒液をペーパータオルにしみ込ませて10分放置します。



- ⑰消毒範囲を離れる場合は、消毒液を浸したペーパータオルでシューズカバーの底面を消毒しましょう。
 ⑱10分後、ペーパータオルで床面を拭き取ります。その後、腐食防止のため水拭きします。



4【個人用防護具の外し方】

- ①シューズカバーを外します。
 ②手袋を外します。
 ③手指消毒をします。

★Point

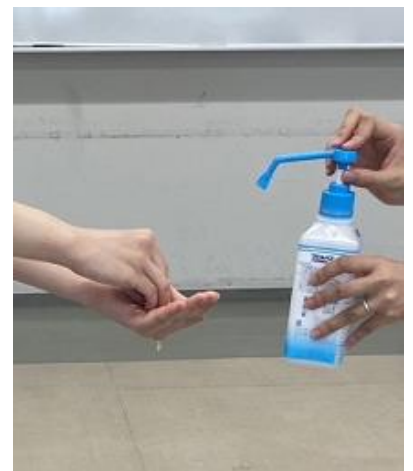
手袋を外してからは、すべての工程で、手指消毒をします。
 役割についていないスタッフがいたら消毒を介助してもらいます。



- ④ガウンを外します。



- ⑤消毒をします。



⑥マスクを外します。



⑦消毒をします。



⑧新しいマスクをつけます。



⑨大きなビニール袋を密閉します。



⑩消毒をします。



⑪ゴミ箱に捨てます。



⑫最後に流水と石けんで丁寧に手洗いをしましょう。

